

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農地流動化促進事業		
事業担当	農業委員会事務局 農業委員会事務局		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	持続可能 産業の発展を持続させる	
	'01	1 産業の持続的な発展に向けて、基本的な理念と戦略を確立する	
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法		
対象・受益者	農業者	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
遊休農地の発生が防止・解消されています。		農地の遊休化防止・解消のため、農家双方の間に入って貸し借り等を行います。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	農業支援ワンストップ相談窓口開設回数(平成26年度から)			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			50	50	
	実績			57		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	農地の新規集積面積			単位	ha
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	7	7	7	7	
	実績	12.3	6.6	13		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
農家へのリーフレット配布等による啓発活動を通じて貸し手借り手の掘り起こしを行い、農業委員による貸し借りのあっせんをはじめ、「農業支援ワンストップ相談窓口」等を活用して、今年度は新規で13.0haの農地の利用集積を図りました。						
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	法令により、農地の借り手や農地の貸し借りの計画の決定等については行政が行うこととされています。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	農業者の高齢化、担い手不足等により遊休農地が増加する中で、経営規模拡大を目指す農家に農地の利用集積を行うことが、効率的な農家経営になり、遊休農地の発生防止、解消につながります。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	食料の生産基盤であり、多面的機能を持つ農地の確保・保全を図るためには、農地の有効利用について、農業者等への啓発活動が不可欠です。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	農地中間管理機構の整備に伴い、機構を活用した農地の利用集積も含めた幅広い集積方法を検討していきます。	高中低
今後に向けた課題の分析 農業者の高齢化、担い手不足等により遊休農地が増加する中で、その削減のため、また、農業経営の効率化を図るためにも、多様な担い手へ、継続して貸し借りによる農地の流動化を推進する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		会議・研修等への参加、リーフレット配布	会議・研修等への参加、リーフレット配布	リーフレット配布による啓発活動、貸借のあっせん等による農地の利用集積	リーフレット配布による啓発活動、貸借のあっせん等による農地の利用集積
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	170	140	149	160
事業費 (A)		170	140	149	160
執行率 (%)		92.90	89.74	95.51	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 農地の所有から利用への転換について周知をするとともに、規模拡大を目指す担い手のほか、新規就農者や法人参入者等の多様な担い手への農地の利用集積を引き続き行います。
課長コメント 農業者の高齢化、担い手不足及び食料自給率の低下等、農業が抱える問題が指摘されています。こうした中、農地の流動化により、農業経営の基盤である大切な農地の有効利用の促進を図ることが重要であると考えています。